



# 中筋地区には魅力がたっぷり 中筋地区の魅力を知らう！



下加陽 ふれあい祭



土洩 秋まつり 松明行列



市谷 塚供養



沖加陽 加陽の郷を学ぶ会

平素はコミュニティなかすじ及び里づくり部の運営にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、当部はふるさと発掘事業の一環として、中筋の魅力を発信する為に各区及び当部員の尽力を得て、中筋地区の魅力をまとめることに取り組みました。長年中筋に暮らしていますが、初めて知ることや再発見がありました。本誌は文化まつりに展示した2年間分で作成したものです。是非ご覧ください。

また、今後も趣向を変え、中筋の歴史、文化、伝統、自然、環境、人物などの魅力を地区内外に発信する事業を継続していきますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

里づくり部 部長 小西 正樹



# 歴史 文化 伝統 自然 環境 人物

- 1. 中筋魅力マップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 各区の魅力（用紙サイズの縮小により文字が小さくなっています）
  - 市 谷 三柱神社、コウロギ古墳、塚供養、出石鉄道・・・・・・・・・・ 2
    - 市谷区へ多大な寄付をされた事実の発表・・・・・・・・・・ 3
  - 中 郷 私たちが使っている上水道は中郷取水場より供給しています・・ 4
    - 中郷遊水地事業が進んでいます・・・・・・・・・・ 5
  - 引 野 赤木正雄展示館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
    - 新川用水と赤木家・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - 土 洩 華道 加藤三津造氏 秋祭り宵宮松明行列①・・・・・・・・・・ 8
    - 秋祭り宵宮松明行列②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
  - 沖加陽 豊かな自然と魅力あふれる歴史ロマンの集落・・・・・・・・・・ 10
    - 沖加陽区の交流行事、おより組・・・・・・・・・・ 11
  - 下加陽 祭りだ!! 祭りだ!!・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
    - 森のようちえんつむぐりの紹介・・・・・・・・・・ 13
  - 清冷寺 三木嶋神社、五条六体地蔵・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
    - 東楽寺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
  - 伏 伏天満宮、天神橋簡易水道施設、郷土振興功労者 金澤保氏  
柳製品職人 藤原艶子氏・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
    - 伏の集落移転にタイムスリップ!・・・・・・・・・・ 17
  - 八社宮 八社宮神社と石造物に見える八社宮の歴史・・・・・・・・・・ 18
    - 自分で作った野菜 食べてみませんか?・・・・・・・・・・ 19
- 3. 各区の魅力一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 4. 加陽湿地と加陽水辺公園／大師山自然公園・・・・・・・・・・ 21



中筋地区の魅力を発掘し、中筋地区内外に発信  
します。

ホームページや facebook をチェックしてね!



コミュニティなかすじ  
ホームページ



### 里づくり部

ふるさと発掘事業

項目	交流	文化	自然・環境
計画	●	●	●
実行	●	●	●

10年後の目標

地区民が中筋の魅力を感じている  
若者がふるさとを恋わっている  
新年度世代や子どもの数が変わらない

中筋の魅力が伝わっていない  
人口減少、少子高齢化

ふるさとの魅力を発掘する!

取組年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
取組事業と ロードマップ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

ふるさと発掘事業

ふるさと発掘事業を概観します

中筋地区の魅力や資源を発掘し、地区内外に発信します。  
入居者や文化財、魅力発掘事業と連携します。  
中筋地区だけでなく、周辺に向けて中筋の魅力を発信し、中筋の交流人口、  
関係人口、定住人口の増加に繋がります。

新川学園  
(中筋小学校4年生地域学習)

加陽城跡  
(大塚山史跡ハイキング)

中いぼり地蔵

魅力発信・協働団体  
中筋地区民会  
行政課  
関係機関  
実行中文化振興課文化財室



※本誌の魅力に掲載されている場所のみを表示しています。

# 谷市

## 伝統・文化 三柱神社

弥生時代の末期に上郷に本拠をおいた気多氏の勢力下にあったと考えられています。葦田氏が先住民を支配していました。

1185年の壇ノ浦の戦いで敗れた平家落人伝承にゆかりのある集落の一つと言われています。その神社は「三柱神社」ですが、平家落人の霊を鎮める三つの供養塔を一つにして祀られている事からその名称がつけられたとされています。

また、日野西直定氏の論文では、市谷が木地屋系であり、三柱神社の事などが記述されています。

明治になって現在の三柱神社の建材の一部が解体移築され、現存しています。



【三柱神社】

市谷は、京極藩の前の神社は、京極藩の形で解体移築され、今も京極藩の瓦が...

\* 語説はいろいろありますが...

## 塚供養



市谷地区は、21戸の小地区ですが昔は50戸程の集落だった様です。

また、この地には石ノ和田、カシワ、コウロギ、カキ谷、オウヤマ古墳などがあり、弥生時代・古墳時代からひとつの集落ができていわれています。

明治に入り、これらの古墳を掘り起こす人々が現れ、多くの古墳が荒らされていきました。それと同時に、昭和に入ると村の戸数も減少していったことから村の衰退していくことを憂い、これは先祖を粗末にしたからだと考えて、古墳を掘り出した後に『倶会一処(くえいしよ)』と刻まれた大きな石碑を建て、村人がお参りをして供養をしました。

『倶会一処(くえいしよ)』とは、阿弥陀経に出てくる言葉で多くの人々がともに一処に集まり合うことを意味し、今でも毎年12月の第2日曜日に区民が集まりお参りを続けています。



【円筒埴輪見状】

コウロギ古墳は、市谷集落東側で東西に延びる尾根の先端に位置しています。以前より埴輪が採集され、当地域の中ほどは主要な古墳として位置づけられていたが、古墳の形や大きさなどは不明な状況でした。

東西15m、南北18mで、東側以外は円形である事が明らかとなりました。このため、古墳の形は円筒埴輪である事が推定されています。

また、埴輪の流出による移動が窺われるもの、原位置より大きく動いてはおりません。土砂の流出による移動が窺われるもの、原位置より大きく動いてはおりません。

築造時期は埴輪の形態より5世紀中頃になります。朝来市にある茶すり山古墳(5世紀前半に築造)は同じ円筒埴輪で形がよく似ています。茶すり山古墳の方が大きく、早く作られたことから、形を真似た可能性が考えられます。

なお、古墳全体の測量は継続中です。



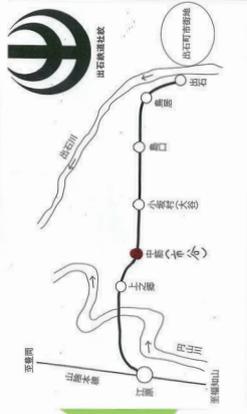
【作業風景】 【円筒埴輪】 【展示のコウロギ古墳】

## 昔、市谷に鉄道が走っていた事ご存知ですか!?

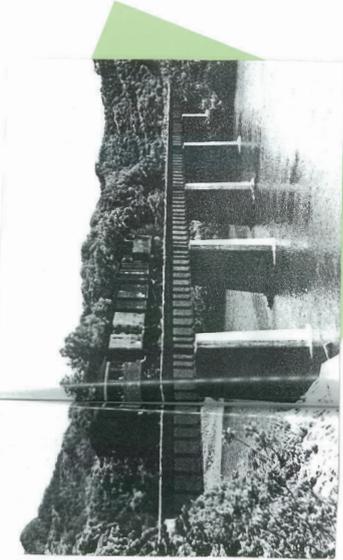
江原	出石 (11.2キロ)
1929 (昭和 4) 年 7 月 21 日	開業
1944 (昭和 19) 年 5 月	撤収
1970 (昭和 45) 年 7 月 20 日	廃止

開業当初は、SLのほかに貨車六両全線11、2キロを35分で運転、1日7往復していた(駅は、出石―鳥居―島口―小坂村―田筋(市谷)―上之郷―江原までの7ヶ所)

昭和5年には真物運輸を始め、出石から米、木材のほか牛市場から年に2回貨車12両を出し、2百頭を江原まで運んだそうです。その後は経済恐慌、台風で鶴岡鉄橋が2回も流されるなどして開業わずか15年の短命に終わり、1970(昭和45)年に廃止されました。



出石・江原路線



鶴岡橋梁



出石駅



# 私たちが使っている水道水は 中郷取水場より供給しています!!

## 中郷区

### 市水道設備とタンク

2002(平成14)年~2015(平成27)年の間  
給水していました。



須賀神社

至片間

葦田神社  
足の神様

2カ所で集水しています

市谷

至上郷

### 中郷取水場

2004(平成16)年より、Φ600mmのパイプで県道府市  
場~伏線、たで川大橋を経て八条浄水場へ送水しています。  
中筋地区は八条浄水場から大篠岡を経由した水道水を使用  
しています。



### 中郷水源跡地

市水道になるまで地元へ送っていました。

ふるさと発掘事業

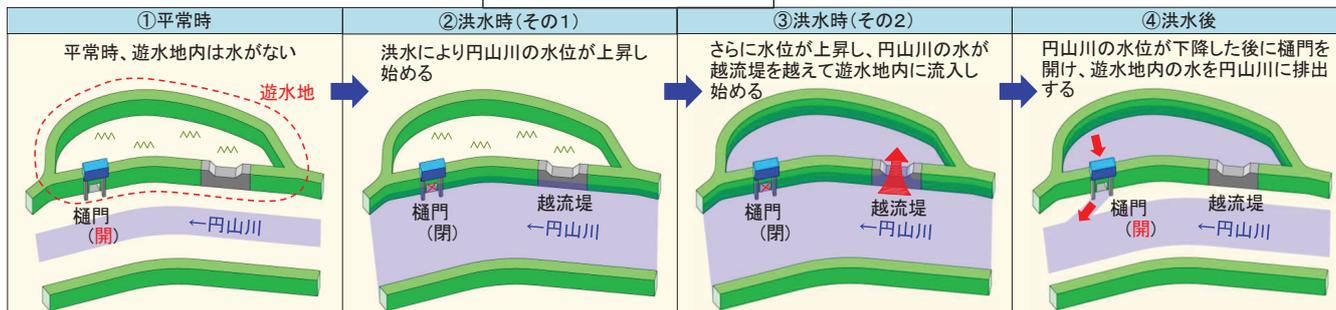
# 中郷区

## ～ 中郷遊水地事業が進んでいます ～

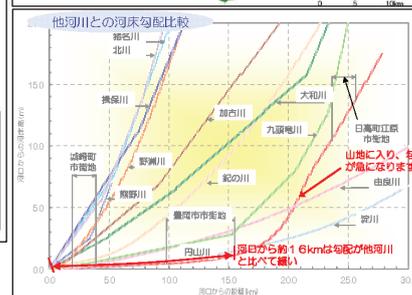
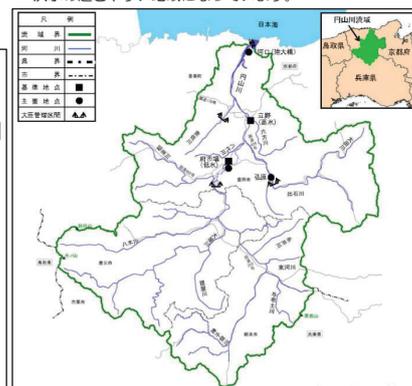
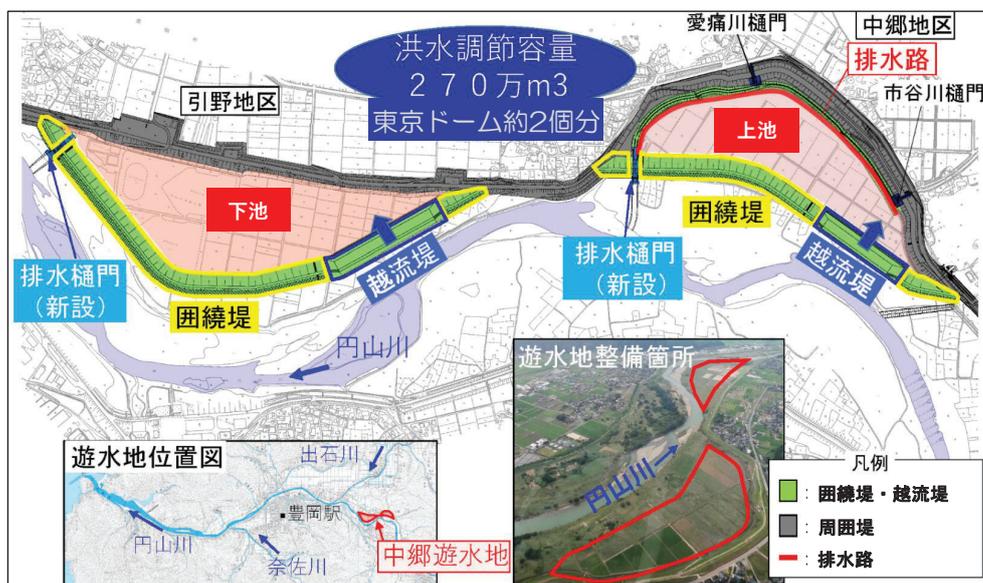
本事業は、平成16年洪水に対応した治水整備の一つで、洪水時の円山川下流部や豊岡市街地の河道水位低減を図ります。

また、平常時は湿地として、豊かな生物の生息・生育繁殖の場となる環境創出します。

遊水地の機能(イメージ図)



但馬(緑枠内)に降る多くの雨水が円山川に集まります。洪水の起きやすい地域になっています。



遊水地完成後は、23号クラスの台風でも本流よりの甚大的な水害は防げます。しかし、近年過去を上回る災害が発生している為、防災意識を高めて災害に備えましょう。

# 世界に「SABO」という言葉を広めた砂防の父 赤木正雄展示館

1、砂防の父 赤木正雄展示館  
場所 〒668-0843 豊岡市引野972

【駐車場】



【正門】



【展示館入口】



【展示館内部】



## 2、赤木正雄氏略歴（1887年～1972年）

- ・豊岡中学校
- ・第一高等学校（東京大学の前身）
- ・内務省入り  
滋賀県瀬田川支流、吉野川、淀川、立山」山系、飛騨」山系、六甲山系など、全国で砂防工事を指揮した。
- ・36歳の時、内務省を休職して自費でオーストリア・ウィーン農科大学に留学。
- ・2年間の留学後、帰国し内務省で近代砂防技術を習得したただ一人の技師として活躍。
- 1942年に55歳で退官するまで、全国各地の砂防工事の指導に当たった。
- 京都帝国大学や日本大学などで講義を行い、砂防理論を確立させた。
- ・退官後、貴族院議員、次いで参議院議員
- ・1951年国際水文学会会、溪流等の浸食をコントロールすることを「SABO」とすることが認められた。
- ・豊岡名誉市民
- ・文化勲章（1971年）
- ・1972年 85歳でご逝去

- 3、徳島県吉野川での溪流砂防工事（内務省2番目の勤務地）  
与えられた設計図書は、河川における堰堤工法をそのまま谷川の砂防に採用した不合理なものであった。  
主任技術者にその誤りを指摘し、変更を申し出たが聞き入れられず、設計図通りの工事施行をせざるをえませんでした。  
しかし、すぐ大正5年の出水でその堰堤は破壊された。  
その後も工事と堰堤破壊が繰り返された。赤木は、出水の跡を細かく調査し一人で模型実験を行うなどして、破壊された原因を推察し、堰堤の改良を考案した。  
しかし、解決しない疑問も抱えるようになった。

- 4、但馬の功績  
円山川直轄工事・一級河川編入・山陰海岸国立公園編入をはじめ、但馬小中河川改修に果たした功績は大きいものがあります。

【銅像：塩津水防倉庫北側】



- ・1965年4月15日 銅像除幕式  
式辞 佐川豊岡市長  
経過報告 富山市議会議長
- ・リュックサックに脚絆スタイルの銅像
- ・銅像台座には、赤木正雄氏の希望により自筆で「答先師」と刻まれている。
- 子弟が、我師の教訓を譲ってそれにお答えする道義心が大切。

【観覧申込み・お問い合わせ】

一般社団法人 砂防の父 赤木正雄展示館  
電話番号/FAX 0796-34-6517  
メール sabo-am-tenjikan@lilac.plala.mail.jp



# 土 渚

ひ  
じ  
り  
ち

地名の由来は、川の淵に土砂が集積した土地にできた集落だったので、土渚となりました。



土渚は中筋の中心部に位置しています。

現在60世帯が暮らしている地区です。

昭和25年の解体合併までは、中筋村役場の所在地でした。

当時は物資運搬に円山川がよく利用されており土渚には、船着き場がありました。又、対岸への渡し舟は中筋では最後まで利用していました。渡し場への階段の一部が残っています。

産業は、農業で水稲、養蚕が盛んに行われていました。平成以降は耕作者が減少していましたが、このとりの夢ファーム(株)が設立され、区内耕作地7割近くを請け負い、機能維持、管理がされています。



城崎温泉「ゆとうや」で生けられました

## 人 物

【華道:加藤 三津造氏】

加藤氏は、明治26年(1893年)4月水嶋任三郎様の三男として豊岡市加陽にて生誕されました。但馬と縁の深い末生流の目代、加藤三甫として多くのお弟子さんを育てられ、流派の発展に寄与されました。

昭和43年10月、昭和天皇・皇后両陛下が但馬行幸中に城崎温泉にご宿泊されました。

そのお部屋に、但馬の華道界を代表して、生け花を生けられました。

(試行錯誤の末にご自宅の庭に植えられていた松の木を伐り、生けられたそうです。)

昭和44年6月27日に77歳で逝去されました。

## 文化・伝統

【秋祭り宵宮:松明行列】

土渚には、民話キジマダが語り継がれています。

八坂神社の山裾に洞穴があり、キジ、マダと呼ばれている

猫が住み着いていて悪さを繰り返していました。

悪さをされないように、キジ・マダと叫び、太鼓を打ちながら

松明の灯りを頼りに列をなして子供たちが宮籠りに向かいます。

掛け声と太鼓のリズム (コンコンは、太鼓の縁を打つ音)

掛け声 キ～ジ マ～ダ  
太 鼓 コンコン ドンドン コンコン ドン ドンドン ドン ドンドン



<写真は、拝殿、宮籠りの様子、鳥居、松明行列出発前>

# 土 渚

ひ  
じ  
う  
ち

地名の由来は、川の淵に土砂が集積した土地にできた集落だったので、土渚となりました。



土渚は中筋の中心部に位置しています。現在60世帯が暮らしている地区です。昭和25年の解体合併までは、中筋村役場の所在地でした。当時は物資運搬に円山川がよく利用されており土渚には、船着き場がありました。又、対岸への渡し舟は中筋では最後まで利用していました。渡し場への階段の一部が残っています。産業は、農業で水稻、養蚕が盛んに行われていました。平成以降は耕作者が減少していましたが、このとり夢ファーム(株)が設立され、区内耕作地7割近くを請け負い、機能維持、管理がされています。

## 【文化・伝統】

### 毎年恒例のしめ縄作り・松明行列

#### 【しめ縄について】

秋祭り本番の前には奉賛会を中心とし、鳥居のしめ縄を作りあげます。ワラの選別から始まり、大人4人の力を合わせ約8m編んでいきます。若人は先輩方から指導を受け受け継がれていく良き伝統です。

※どうして神社には「しめ縄」があるの？

しめ縄の意味はズバリ「结界」！ここから先は神聖な場所ですよ、という目印のようなものです。

※しめ縄のねじり方に注目！

多くのしめ縄は「稲わら」を使って出来ています。稲刈りの際、籾（もみ）を取り除いたあとに残る部分です。しめ縄のねじりは「綯い(ない)」と言うもので、左綯いと右綯いがあります。神事に使われるしめ縄は基本左綯い。神道では左を優先にするという考えがあるからです。



Before



After



#### 【松明行列】

##### 「キージ マーダ」とは？

むかーしむかーし、土渚の八坂神社は今の幼稚園の辺りにありました。

ある時、キジ猫とマダ猫が村人達に悪さをし迷惑をかけていました。そこで、困った村人達は猫を退治しました。

すると、神社は火事になり燃えてしまいました。村人達は猫の祟りだと恐れ神社を今の山の上に移し、怒りを抑える為に、今も「キージ マーダ」とかけ声をかけながら松明行列をしています。

掛け声 キ〜ジ

マ〜ダ

太鼓 コンコン ドンドン コンコン ドンドン ドン ドンドン



## 沖加陽 良いとこマップ

### 【野菜(トマト・きゅうり・いちご等)】

沖加陽自慢の野菜 新鮮 美味しい!

### 【朝市】新鮮野菜の直売所

○加陽朝市

○水辺公園朝市



### 【桜並木】

年々木が大きく成長し、見ごたえを増しています。毎年春の訪れが楽しみです。



### 【加陽湿地・加陽水辺公園】

人と自然の共生を象徴する拠点として整備されました。湿地や水辺に触れる楽しさを体感するとともに、治水と環境について学んでいただくこと、人の交流の活性化を目的として『湿地まつり』を両加陽区で開催しています。

また、中筋小学校等の生き物調査も毎年行われています。



### 【フジバカマ(藤袴)】

秋の七草のフジバカマ 沖加陽交友会が水辺公園と集落センターで大切に育てています。アサギマダラ等の美しい蝶が集まります。



### 【加陽いちごの里】運営:北但社会福祉事業会

地域との交流を大切に、平成18年より、沖加陽区にて運営されています。秋祭り等を通じて交流をしています。



### 【中山神社】

沖加陽・下加陽の両区の神社です。昔加陽は一つでした。



### 【大市山遺跡・加陽城址】

古代 朝鮮半島から伽耶族が渡来したことが加陽の始まり。歴史ロマンがたくさんつまっています。



出石川右岸から見る加陽城址

## 沖加陽の魅力クローズアップ

### 【歴史①】加陽の誕生 ~アメノヒボコ伝説と朝鮮伽耶族~

古代の但馬は日本海の「海の道」を通じて大陸との交流が盛んに行われていました。そのことが「アメノヒボコ伝説」として残されています。

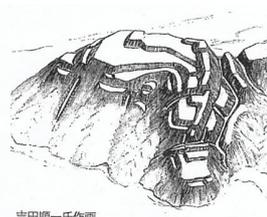
今から約2千年前の垂仁天皇の時代(弥生時代)に、朝鮮半島 白羅の国の皇子アメノヒボコが、大和の国を侵攻するため日本に渡って来ました。しかし、侵攻は失敗し、播磨や難波、若狭などを遍歴しながら、出石へ辿り着きました。現在の出石神社のところに本拠地として、アメノヒボコを守る伽耶族の軍隊の居留地が置かれたのが加陽でした。加陽の地名は伽耶族に起因するとも考えられます。また、伽耶族の軍隊は丹後の加悦町(現与謝野町)にも置かれたとも語り継がれています。

伽耶族は山からの清水を利用して開拓し食糧を生産しました。人口も増え集落を形成したものと思われます。伽耶族がもつとなる加陽の地の発展が大市山遺跡に残されています。大市山遺跡からは、密教系の山林寺院跡(奈良時代後期)が発掘されています【図1】。当時に朝廷から離れた豊岡の地でこれほど立派な寺院が建立されていたことから、当時の加陽(伽耶)が大きく発展し、力があつたことが伺えます。

【図1】寺院 護摩堂復元図(奈良時代)



【図2】加陽城址(戦国時代)



### 【歴史②】加陽城址 ~戦国時代の山城~

伽耶族の開拓から始まり、「但馬の国 気多郡 伽耶郷(けたぐん かやごう)」とされました。その範囲は、引野・土淵・加陽・清冷寺・伏・八社宮でした。

中世戦国時代(1500年代)に中山丘陵北端(加陽小字大市山)に加陽城が作られていました。城域は東西160m、南北160mにおよび、その最大の特徴は、主郭南(背後)の尾根を切断する大規模な2本の堀切・塹壕と土塁を用いて外敵の侵入を防ぐ強固さを備えていました。【図2】

加陽城は戦国大名の山名家に帰属していました。城主の詳細は分かっていますが、当時の文献には、加陽豊後守(かやぶんごのかみ)との名前が記されています。加陽城主の家老が小西本家であり、伽耶郷の初代組長でした。

### 【福祉】高齢者の笑顔が集まる場所 ~加陽いちごの里~

平成18年沖加陽の古民家を改修し、デイサービスの営業を開始しました。地域に溶け込んだ雰囲気のある建物で過ごしていただいています。

お花見ドライブや盆踊り、敬老会、運動会、いちご喫茶など多くの行事や日々のレクリエーションを通じて、利用者のみなさん・職員ともに楽しみ笑顔で過ごしています。また心身機能の維持向上をはかり、日常生活の自立を助けるために全身・部分的な体操を行っています。

ここ最近は、感染症対策で、地区のだんじりが中止になり、地域のボランティアのみなさんや中筋小学校交流会の訪問が無くなり、さびしいですが利用者のみなさんが楽しみにされていますので、感染症が落ち着いたら、ぜひ来ていただきたいと希望しています。加陽地区のみなさんのご理解とご協力あつて15年間営業してこれました。感謝いっぱいです。ありがとうございます。

加陽いちごの里職員一同



# 沖 加 陽

令和4年

沖加陽区では様々な行事を年度毎に計画し区民の交流を行っています。

## 区民運動会

隣保対抗の区民運動会。沖加陽集落センターグラウンドにて、コミュニティなかすじの運動会種目を参考に行っています。



(昭和56年第1回の様子)

## 納涼夏祭り

毎年8/13に開催。ミニゲームや金魚すくいなどを行っています。お盆の帰省時期と重なっているため賑っています。



(昭和62年)

## スポーツ行事

過去にはバレーボールやゲートボールを開催。現在はグラウンドゴルフを取り入れています。



(昭和56年バレーボールの様子)



(平成元年)

この他にも、研修会（旅行・勉強会）等を行っています。

※沖加陽むらづくり運営委員会（区長をはじめ隣保長・農会・育成会等から構成される委員会）

## 【おより組】

沖加陽区には葬儀助け合いの【おより組】（10軒程度からなる組）があります。ほとんどが隣同士ですが、中には少し離れた家も入った構成になっています。近年、自宅葬から会場葬になり役目役割は少なくなってきましたが、助け合いの精神は未だに保たれています。



慶応3年（1867年）から、（現在も）当番が持ちまわっている袋。



【名札】構成される家の名前が書かれています



年毎の当番の名前が記されています。継ぎ足して現在も使用しています。

# 下加陽の祭りだ!! 祭りだ!!

ふれあい祭（8月）～毎年、お盆の14日に開催!! 楽しい「下加陽ふれあい祭」を一度見に来てください～



子供たちの歌（未来のスターが?）



観客はくぎ付け



仮装して舞台披露



拍手喝采!



出演者も楽しんで



まつりにはやっぱりバザー

秋祭り（10月）

～豊作祝いだ!! だんじり祭り～  
下加陽太鼓に合わせて!! 「それー!」「カタイレ!」「オッサン、ヤーレ!!」



大人はだんじりを担いで巡行



だんじりを引き終えた子供たち

加陽湿地まつり（11月）

～人と自然環境との調和 加陽のおもてなし コウノトリも空より...～



おにぎりの早食い競争



餅まき（いっぱい投げて!）



もちつき体験コーナー

# 森のようちえん つむぐり の紹介

## ふるさと発掘事業 【下加陽】

加陽水辺公園を拠点に活動されています。

下加陽の畑で野菜を栽培されています。

野外活動中心の中で天候不良時や緊急時の安心な避難場所として、また子育て中の親同士の繋がりや地域の方との関わりあえる場として「下加陽会館」を活用されています。

しなやかに育てることをもとに、ひとりひとりの育ちに寄り添いながら、ゆっくりと育つ時間を大切にされています。また、畑仕事や手仕事を通じて、地域の方との関わりあいを持ちながら、子どもを真ん中に大人も共に育ちあえる場を目指されています。

### 活動紹介

令和4年春～夏

#### 親子組(毎週月曜日実施)

加陽水辺公園の裏山や下加陽会館、  
下加陽地区の畑で活動しました。



お父ちゃんお母ちゃん、まだまだ子どもたちに負けてません！木にぶら下がるのはいつぶり！？そんな親の姿をあんぐり見ている子ども達。

普段できないことや興味があることをみんなで楽しくやってみよう！！実は気になっていたガレット作り。作ってみたら、まあオシャレ～。



お母ちゃんたちはフカフカ落ち葉に寝そべて、全身で自然を感じて日々の疲れを癒します。



#### つむぐりとは？



自然の中で子どもたちがたくさんの経験を つむいで1本の太くて丈夫な心を育てていって欲しいという思いからつけられています。

つむぐりはどんぐりの語源でもあり、沢山の実をつける大きな木のよのびのびと生きる力を育てて欲しいという願いも込められています

畑仕事って大変だなあ…でも、土に触れて汗かいてみんなであーだこーだと一緒に作業して、この充実感たらない！！

#### ころころ組(毎週金曜日実施)

2～3歳の子どもたち5人が活動しています。

#### ようこそ会



ちよっぴりドキドキしたけど、みんなかつよく座っていいお顔。元気な声でお返事もできました(´▽`)記念品はかつよくできたですよ。これから一緒にワクワク楽しいことたくさんしようね！みんなで食べたそうめんは最高だね！

#### 山での保育活動



#### 畑・自然・食に触れる活動



子どものやってみたい気持ち。「なんだか楽しいぞ」って夢中になる気持ち。眠いから寝ちゃうぞ～と自然体なところ。全てが子どもの心と身体への財産になります。

「大きくなあれ！」とお水やり。「あれいつ食べれるの??まちきれないよ」 「ガブリ」とまるかじり。甘いねー！ってペロリと食べちゃった。おかわりー！！

#### ○大人のかかわり方○

子どもの心に寄り添い、子ども同士のかかわり合いをお互いに支え合い、見守ることを大事にしています。大人はつつい、子どもの行動に先回りして、怪我をさせないように、間違えないようにと口や手を出しがちですが、森のようちえんでは「体験はすべて子どもの学び」という考えから、もめごと失敗もあえて経験させます。しかし、大きな怪我につながらないよう、細心の注意を払い、万が一の事態に備え、訓練をかさねます。

#### 森のようちえんを運営しているのは、「ワーカーズコープ」

ワーカーズコープは、次世代へ遺すために持続可能な森づくりを行う「NextGreen 但馬」と、自然のなかで子どもたちの育ちを支える「森のようちえん つむぐり」等を運営されています。

持続可能な「森づくり」とそこで育つ「人づくり」。加陽水辺公園を中心とした中筋エリアで、自然の産物とともに子育ての場をつくってられます。

#### ワーカーズコープ

活動・取組の紹介 (令和4年春～夏)

##### ■ 森林整備

市立加陽水辺公園交流館の裏山や湿地ふれあい広場の周辺で、繁茂している竹林の伐採や草刈り作業を実施しました。



##### ■ 自然体験イベント

##### 夜の昆虫捕獲作戦！！(7月8日)

加陽水辺公園でライトトラップを仕掛けて、光に向かって飛んでくる昆虫たちを観察しました。

##### 昆虫観察&標本づくり体験会(7月25日)

生きものの先生をお招きして、加陽水辺公園や加陽湿地の昆虫を観察したり、標本づくり体験を実施しました。

ワーカーズコープ 連絡先

住所:〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町 9-27

Tel:0796-34-6333 Fax:0796-34-6336

Mail:next\_green\_tajima@leto.eonet.ne.jp

Homepage

Instagram

Facebook





## 清冷寺【せいれいじ】【しょうれんじ】

国道 426 号線沿い、出石川に掛かる天神橋のたもとに位置する集落。名前の由来は京都市右京区嵯峨にある寺院、清冷寺の荘園だった事に由来している。(写真中央は豊岡聖天東楽寺)

### 【伝統・文化】三木嶋神社



【鳥居】



【参道風景】



【拝殿】

【御祭神】天照御魂神(アマテラスタマノカミ) 【鎮座地】兵庫県豊岡市清冷寺 1132-1。

九日市上町の女代神社の氏子であり、近くを流れる出石川の氾濫を鎮める為の治水の神として祀られている。出石川は昭和10年頃に堤防が出来るまで、たびたび氾濫を繰り返していた。

通常、神社の拝殿は参道の突き当たりに設置されるのが主流であるが、三木嶋神社の拝殿は参道に対して平行に設置されている。ご神体を出石川の方角に向けた為ではないかと推測される。

平成16年の23号台風の堤防決壊により清冷寺地区は水没したが、三木嶋神社は奇跡的に浸水を免れ、境内の森がまるで島のように見えたという。

拝殿手前の狛犬は大正8年設置。灯籠は昭和9年設置。参道に並ぶ灯籠は平成4年設置。また、平成4年に拝殿の改修工事がなされている。そして境内には【祇園牛頭天王】【正一位稻荷大明神】も併せて祀られている。

### 【伝統・文化】五条六体地蔵



【全景】



【六体地蔵】



【五反の地蔵】



【印塔】



【供養塔】



【土地改良碑】

江戸時代から大正時代まで清冷寺の出村がこの場所にあり、5軒ほど民家が存在していた。

五条と呼ばれたこの場所の近くには、五条川に沿って出石街道が敷かれており、旅の安全を願うお地蔵様として六体地蔵が鎮座していた。五条川は物資運搬の船が行き交い、出石街道は道幅6尺の大街道で、豊岡から京都・大阪へ向かうための主要幹線道路であった。当時この地には宿もあり、但馬ノ国豊岡藩の歴代藩主も利用していた。大正時代には自動車や馬車も行き交い、賑わいを見せていた。

昭和37年の耕地整理、昭和45年の中筋北部土地改良により五条川は排水路へ、街道は農道としてその姿を変え、同時に清冷寺区内各所に散らばっていた【五反の地蔵】【印塔】【念仏供養塔】などもこの地に集められた。お地蔵様には伝統的に紅殻(べんがら)と白墨で化粧が施されており、毎年8月の地蔵盆には子供達の手によって祭られ、化粧直しが行われている。

かつての賑わいが無くなった現在でも、お地蔵様は静かに村人を見守ってくれている。

# 清冷寺

ふるさと発掘

## 東楽寺

東楽寺は、円山川右岸清冷寺に位置し、鐘楼を兼ねた山門の奥にあって、高野山真言宗に属し約1180年前に弘法大師によって開かれたと伝えられています。

また、当寺には、国指定重要文化財に指定された四天王立像が祀られています。四天王は、仏を守るための4体の武神で、持国天、増長天、広目天、多聞天のすべてが揃っています。



### 【国指定 重要文化財】 四天王像



#### 四天王像の由来

延長年間 寺の再興の時に造立されたものといわれています。桧材の一木彫刻で藤原中期のすぐれた作風をそなえており、いずれも尊厳に満ちた表情、姿が特徴です。昭和25年 国の重要文化財に指定されました。

### 【県指定 重要文化財】

#### 胎藏界曼荼羅

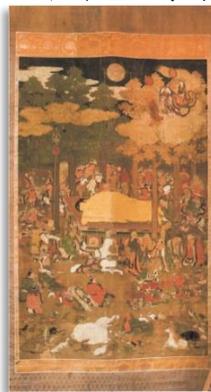


#### 金剛界曼荼羅



### 【市指定 重要文化財】

#### 絹本着色涅槃像図



#### 聖観世音菩薩



### 持仏堂の外観



(昭和31年頃)



(現在)

# 伏



伏地区は天神橋北側の国道 426 号堤防沿いに位置する集落で、従来から住んでいた世帯と新しく入居した世帯とがほぼ半数の割合で、区民約 280 人が支え合い助け合って暮らしています。

## < 伝統・文化 > 伏天満宮

伏天満宮は、学問の神様・菅原道真を主祭神とする神社で、明治 6 年（1873 年）10 月に村社に列せられた。円山川の埋立てにより昭和 6 年（1931 年）に本殿を移転改築し、常殿拝殿が新築された。

神社には神輿もあり 3 年に一度、地区内を巡行する「神輿渡御」が行われている。

- 所在地 豊岡市伏字天神島 687
- 主祭神 菅原道真
- 創立年月日 不詳



< 天満宮鳥居 >



< 天満宮拝殿 >

## < 旧施設 > 天神橋簡易水道施設

天神橋簡易水道組合は昭和 39 年（1964 年）、中筋 5 地区（沖加陽、下加陽、清冷寺、伏、八社宮）と隣接する新田 5 地区（今森、江本、大篠岡、木内、駄坂）の共同により設立され、その給水施設が伏天満宮南側（現在の駐車場・広場）に建設された。

これらの地域は長い間、飲料水を掘り抜き井戸等に依拠していたため、衛生上また文化生活上の問題を残していたが、市水道事業所の指導協力を得て、約 3,000 万円の費用を投じて給水施設や各地区への配管工事が行われ、昭和 39 年（1964 年）4 月に完成通水した。

また、その 2 年後の昭和 41 年（1966 年）には給水エリアを新田地区の河谷、中谷まで拡張し、12 地区に給水することとなった。

しかしながら、通水から数年後、徐々に浄水に鉄分が混入するいわゆる「赤水」状態となることが多くなり、「ろ過装置」の設置など種々の対策が講じられたがその効果が見られず、やむなく昭和 60 年（1985 年）には別の水源を探索し移行した。

創設当時の給水戸数は 500 戸で、30 年後の平成 6 年（1994 年）には 1,100 戸を数えるに至ったが、市の新たな上水道並びに下水道整備計画により、当該地域は市上水道へ編入することとなり、平成 15 年（2003 年）4 月に天神橋簡易水道組合は解散することとなった。



< 伏天満宮前広場の記念碑 >



< 解散時の天神橋簡易水道施設 >

## < 人物 1 > 郷土振興功労者 故金澤保氏

金澤保氏は、明治 44 年（1911 年）2 月 11 日、父・金澤彦太郎様、母・まつ様の五男二女の四男として豊岡市伏にて生まれる。昭和 8 年（1933 年）、22 歳の時に大阪へ出られ、そして苦難難行を重ねられ事業者として成功される。

氏は、中筋尋常小学校同窓会で当時の中筋地区の現状を知ることとなり、同窓生の働きかけなどもあって、中筋地区の文化向上、福祉の増進を図ることを目的として、とりわけ幼稚園・小学校教育や老人福祉（敬老会）を永年にわたり援助するために 1 千万円の基金を拠出いただき、昭和 46 年（1971 年）2 月 12 日に「財団法人中保会」が設立された。

その後も中筋公民館の建設にかかる費用や小学校の備品購入等についても多額の私財を投じていただくなど、生涯にわたり出身地である中筋地域の振興に多大な貢献をいただいた。氏は、昭和 59 年（1984 年）2 月に逝去されたが、その後も氏的意思を引き継がれた妻の貞子様、長男の一三様からも中筋地区並びに伏地区に対し多額の資金の提供をいただいた。

（参考/金澤保氏の業績記録…大字能夫氏記）

## < 人物 2 > 柳製品職人 藤原艶子氏

昭和 21 年（1946 年）生まれ

藤原艶子氏は 40 代半ばで柳製品づくりを始められ、以来 30 年にわたりその技術を磨かれ、多くの作品展で入賞を収められている。その製品はカバンストリート「アルチザン」等で展示・販売されている。柳製品の作成にあたっては、細工の材料である柳を自家栽培され、刈り取りから乾燥そして編み上げにいたるまで、工程のすべてを手作業で行われている。

○主な受賞歴

平成 8 年 3 月	杞柳編組教室作品展 技術賞「乱れかご」
平成 10 年 3 月	杞柳編組教室作品展 技術賞「飯行李」
平成 10 年 3 月	杞柳編組教室作品展 豊岡杞柳細工伝統工芸士会会長賞 「書類ケース」
平成 11 年 3 月	杞柳編組教室作品展 技術賞 「2 重編み花かご」
平成 15 年 10 月	2003 きんき伝統工芸品フェスティバル 特別企画展 (財) 伝統的工芸品産業振興協会会長賞



< 藤原艶子氏の柳製品 >



< 自家栽培中の柳 >



# ふし 伏

2022 ふるさと発掘事業

大正後期～昭和初期

## 伏の集落移転にタイムスリップ！

### 家や田畑を河川改修工事に提供

## 100年前は今の河川敷に多くの家が建っていた！

### 一円山川第1期改修工事で集団移転一

(工事期間/大正11年～昭和13年)

#### ① 川の氾濫で水害が毎年のように起こっていた！

かつての伏集落は、地形的に円山川と出石川の合流地点に位置し、長雨や台風で川が毎年のように氾濫し、大きな被害に苦しんできました。当時の出石川や円山川には大きな堤防はなく、流れがくねくねと蛇行していたため、大雨が少し続くと水が溢れ出て家や田畑が浸かってしまうという状態でした。

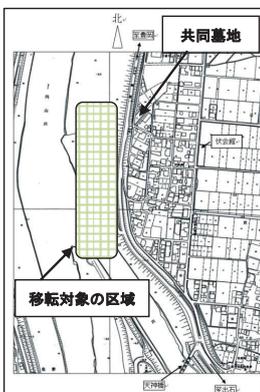
明治の終わり頃の伏集落の戸数は53戸でしたが、農家らしい農家は半数にも満たず、多くの家がわずかな田畑を耕作して、後は日雇いに出たり、川漁師をしたり、柳行李を編んだり、小さな商売をしたりして生計を立てていたようです。

水害は伏集落だけではなく、出石川・円山川周辺の他の集落でも被害が出ていました。とりわけ、「大磯の大曲り」といって、現在の豊岡南中学校の東側あたりで円山川が大きく蛇行し、ここが流れをせき止めてしまう元凶だと言われていました。

「出石川や円山川が氾濫しないように改修して欲しい」との周辺住民の長年の願いは大正8年にやっと叶えられ、大正11年から円山川第1期改修工事が始まりました。改修工事によって切り取られた「大磯の大曲り」は、現在は「廃川」と呼ばれて、塩津・京口・大磯・豊岡市民会館周辺でその名残を見ることができます。

#### ② 大正13年に区画整理実施！14年に宅地組合設立！

昭和2年～3年に集団移転！

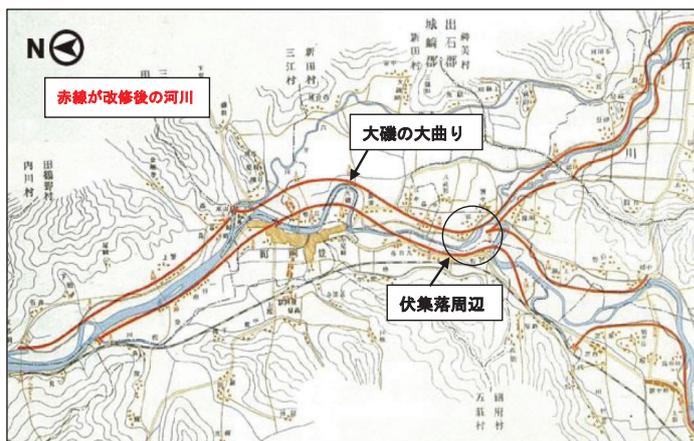


改修工事は、「①川をまっすぐにする。②拡幅する。③堤防をつくる。」などの内容で、伏集落の「河川敷地」に取り込まれてしまう家屋は改修工事が始まる前に立ち退かなければなりません。また、田畑も使えなくなってしまいます。移転が必要であった戸数については、確かな数値は不明ですが、移転先の区画等から当時の戸数(50戸余り)の半数程度がその対象であったと推定されます。伏集落では移転に伴う新しい集落づくりのために、大正13年に移転予定地を

「基盤」型に区画整理し、大正14年には宅地組合を設立し、その翌年に宅地の割当を行っています。

移転住宅の建て替えは、昭和2年から3年にかけて行われたようですが、現代のように「すべて新築」とはならず、移転当初は、屋根は笹葺きや茅葺き、壁は荒壁、建具は古い家のものを使って当座をしのいだ家も多かったと伝えられています。

大正時代の終わり頃の円山川・出石川の流れ



「豊岡河川国道事務所編 まるやまがわキッズ」より転用

#### ③ 墓地移転、お堂移転、天満宮再建にも取り組む！

この集落移転に合わせて、大正13年には田畑の間に散在していた墓地を現在の場所に集めて集約化し、昭和2年には集落の中心部に共同所有の広場を設けて、「お堂」を移設しています。盆踊りや集会、子どもの遊び場に利用され、時には芝居の興行が行われるなど集落のコミュニティの場として賑わいました。

昭和46年に、「お堂」は老朽化のため取り壊され、共同所有地には新たに伏会館(旧館)が建設されました。

また、村の鎮守である「伏天満宮」も河川改修工事に伴って昭和6年に建て替えられ、数多くのハード事業が連続して実施されました。



「お堂」(旧伏会館跡地)

#### ④ 河川改修工事で集団移転が伏のむらづくりの原型！

大正11年から昭和13年まで18年かけて施工された円山川第1期改修工事は効果は大きく、その後、家屋や田畑の水害は大幅に減少したと伝えられています。

この河川改修工事に付随して行われた伏集落の集団移転を始めとする諸事業が、現在の伏地区のむらづくりの基盤となり、住民の暮らしの大きな礎となってきました。

改修工事によって多くの耕作地が失われましたが、村の将来を見据えた先人の先見の明と献身的な努力に感謝の念が堪えません。

年	主な事業内容
大正 8	改修工事予算国会通過
大正 11	第1期改修工事開始
大正 13	区画(耕地)整理事業 墓地集約化(墓地移転)
大正 14	宅地組合設立
大正 15	宅地割当
昭和 2	住居移転 お堂移転
昭和 3	住居移転
昭和 6	天満宮再建

※参考資料/「豊岡河川国道事務所 まるやまがわキッズ」、中筋の伝説(中筋高齢者教室編)



# 自分で作った野菜 食べてみませんか？



ふるさと発掘

## 八社宮



八社宮の魅力は何といっても農地。

平地で害獣がない環境がいい所だと考えます。

最近テレビでもよく取り上げられている「家庭菜園」「自給自足」

今、農業が注目されています。

1度家庭菜園をやってみたい方。定年、定年間近で農業の楽しみを味わいたい方。

家族で自給自足してみたい方。

興味はあるがどうすれば？

そこで先駆けて農地を借りて農作物を育てていらっしゃる方をご紹介します。

四季折々の農作物を育てていらっしゃいます。

今は秋の旬の野菜が大きくなっています。



すいか、メロン、人参、大根、白菜、色々な  
写真には写っていませんが柿の木も！

ビニールハウスを建てられぶどうが！  
こだわりがすごい！



奥さまの好きな小豆まで！

空地(農地)をレンタル(貸出農地)という仕組みを作ればいいのですが現在のところまだありません。  
個人、個人でのやり取りでされている方が楽しく生きがいを感じて野菜作りを  
10年以上されていることは事実です。

このレンタル農地が八社宮にとって活性化の源となり八社宮に広がればいいなと思います。  
将来は八社宮地区のみなさまに野菜、果物(すいか、メロン、ぶどう、栗、とうもろこし等)を  
たくさん作って食べていただける日が来ることを夢見て日々頑張っているように思います。

**いつでも見に来てください。待ってま〜す！**

## 各区の魅力ピックアップ一覧表

2021(令和3)年度・2022(令和4)年度

	文化・伝統	環境・自然・施設	人物	産業	その他	【人づくり文化部】 グーグルマップ地点登録
市 谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>三柱神社と石鳥居参道の石段</li> <li>塚供養</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コウロギ古墳</li> <li>深谷古墳(昭和58年発掘)</li> <li>3基の大規模砂防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>故 池内久男氏 旧市谷公民館(自宅)寄贈</li> <li>故 河本半次郎氏 三柱神社石鳥居寄贈</li> <li>故 今井正夫氏 現西井氏前石の護岸</li> <li>故 河本せつ氏 三柱神社石の手洗い寄贈</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>出石軽便鉄道</li> <li>台風23号 水害被害 (H17.10)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三柱神社(写真追加)</li> <li>市谷営農センター</li> </ul>
中 郷	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋祭り じじばおこし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>葦田神社</li> <li>須賀神社</li> <li>荒神大明神</li> <li>大日如来</li> <li>千手観音</li> <li>中郷水源地と水源地跡</li> <li>中郷遊水地</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬牛飼育 新田義孝氏</li> <li>養蜂店 井戸 昭氏</li> <li>豆腐店 西垣 修氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出石軽便鉄道跡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>浄厳寺</li> <li>善教寺</li> <li>中郷公民館</li> <li>葦田神社</li> <li>須賀神社</li> </ul>
引 野		<ul style="list-style-type: none"> <li>大師山自然公園 無料キャンプ場 山の湧き水/簡易水洗トイレ</li> <li>大師堂 弘法大師を祀る 桜まつり110回</li> <li>赤木正雄展示館</li> <li>観音堂 観世音菩薩を安置</li> <li>新川用水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂防の父 赤木正雄氏</li> <li>新川用水 赤木喜太夫氏</li> <li>名跡の代々継承者 由良嘉兵衛氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬牛飼育 竹村清志氏</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大師山自然公園 キャンプ場</li> <li>赤木正雄展示館</li> <li>明元時</li> <li>梅佐伎神社</li> <li>引野公民館</li> </ul>
土 淵	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋祭り宵宮 松明行列 しめ縄作り</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>華道 故 加藤美津造氏</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>中筋小学校(写真追加)</li> <li>中筋幼稚園(写真追加)</li> <li>土淵駐在所(写真追加)</li> <li>土淵郵便局</li> <li>専念寺</li> <li>八坂神社</li> <li>土淵会館</li> <li>中筋地区コミュニティセンター(写真追加)</li> <li>堂</li> </ul>
沖 加 陽	<ul style="list-style-type: none"> <li>大市山古墳</li> <li>加陽城址</li> <li>中山大神宮</li> <li>秋祭り</li> <li>小西本家</li> <li>加陽湿地祭り</li> <li>地藏盆</li> <li>盆行事</li> <li>おより組</li> <li>区民運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加陽湿地</li> <li>加陽水辺公園</li> <li>ホテル</li> <li>クワガタ・カブトムシ</li> <li>加陽いちごの里</li> <li>古木大木</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加陽の歴史 小西勝市氏</li> <li>農水省表彰 小西 勲氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業 (トマト・イチゴ等)</li> <li>加陽朝市</li> <li>加陽水辺公園朝市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水害被害</li> <li>つながり、気にかける関係性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山神社(写真追加)</li> <li>沖加陽集落センター</li> <li>加陽水辺公園・交流館</li> <li>加陽湿地</li> </ul>
下 加 陽	<ul style="list-style-type: none"> <li>加陽ふるさと祭り</li> <li>地藏盆祭り</li> <li>湿地まつり</li> <li>だんじり祭り</li> <li>秋祭り(中山神社)の宵宮の「餅まき」風景</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加陽城跡の椿群生地</li> <li>新川水路 加陽サイホン</li> <li>川の合流点の為、「霧の町・加陽」の発見、 竹田城に負けない幻の地区づくり</li> <li>加陽湿地</li> <li>湯坪(字名)早く雪が解ける場所</li> <li>コウノトリをはじめとする鳥たちが集まる所</li> <li>加陽湿地</li> <li>森のようちえん</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜栽培</li> <li>土木・建築業の方が多い</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>浄教寺(写真追加)</li> <li>下加陽会館</li> <li>加陽営農センター</li> </ul>
清 冷 寺	<ul style="list-style-type: none"> <li>清流太鼓(清冷寺太鼓)</li> <li>子供だんじり</li> <li>大人だんじり</li> <li>亥の子祭り(餅つき)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三木嶋神社</li> <li>五条六体地蔵</li> <li>東楽寺</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>葡萄づくり40年 関 敬次氏</li> <li>但馬牛育てて40年 浅井光澄氏</li> <li>豚を育てて50年 野澤圭一氏</li> <li>清冷寺にビニールハウスの基礎を教え た人 故 西田信雄氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬米</li> <li>コウノトリ米</li> <li>ピオーネ</li> <li>シャインマスカット</li> <li>ねぎマッチョ</li> <li>豆腐</li> <li>土地改良碑 (秋森博行宅前)</li> <li>土地改良碑 (五条六体地蔵)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロータリー 天神橋の名残</li> <li>掲示柱 台風23号での会館浸水地点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三木嶋神社(写真追加)</li> <li>東楽寺</li> <li>清冷寺会館(写真追加)</li> </ul>
伏	<ul style="list-style-type: none"> <li>伏天満宮(神輿渡御)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天神橋簡易水道跡地</li> <li>大正から昭和の集落移転</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土振興功労者 故 金澤 保氏</li> <li>柳製品職人 藤原詔子氏</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>伏天満宮(写真追加)</li> <li>伏会館</li> </ul>
八 社 宮	<ul style="list-style-type: none"> <li>気多郡と城崎郡の県境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜の名所</li> <li>八社宮神社</li> <li>石造物</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>稲作の進化</li> <li>農地 平坦で害獣がいない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出し農地の 仕組みの提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八社宮神社</li> <li>八社宮会館(写真追加)</li> </ul>

※各区の魅力ピックアップ作業は人づくり文化部員のほか、区長・各区の役員のご協力をいただきました。

※赤字の魅力を取り上げました。グーグルマップ地点登録の青字は掲載済です。

## 加陽湿地と加陽水辺公園

出石川・加陽地区において、コウノトリと人が共生する環境の再生を目指し、さまざまな生きものの生育、繁殖する場所を創るために、国交省の自然再生事業により湿地、河川、水路が整備されました。併せて隣接する地域には豊岡市の加陽水辺公園が整備され、人々の集いの場として交流館、広場、展望台が設置されました。

公園内では様々な活動がされています



水曜野菜市



グラウンドゴルフ



生き物調査



フジバカマ育成と観察

## 大師山自然公園

中筋地区の丘陵地には約900基の古墳があり、この大師山付近には約150基があります。その中に弘法大師信仰に基づく石仏や大師堂が建てられ、大師山と呼ばれるようになりました。この地を自然公園として豊岡市で整備し桜の名所として地元で親しまれてきました。

### 施設概要

- ・総面積—7ha
- ・自由広場
- ・管理棟1棟
- ・炊事場2棟
- ・トイレ
- ・テントサイト
- ・照明給水設備

### 古墳概要

- ・規模—10m程度の小規模の円墳
- ・時期—6世紀頃
- ・石室—竪穴系横口式石室
- ・出土品—土器、鉄器、装身具(首飾り等)



令和3(2021)年度 里づくり部員

部 長：小西正樹  
副 部 長：上崎良純  
広報委員：原みゆき  
担当区長：新田義孝

今井繁夫	今井幹男	坂本富美枝	武中勝利
松田八恵美	植坂 語	太田あゆみ	大和かおり
小西一吉	西浦里美	近藤基以	安田佳子
花谷英一	花谷紀美子	八木田宏幸	尾村信子

令和4(2022)年度 里づくり部員

部 長：小西正樹  
副 部 長：新田義孝  
広報委員：原みゆき  
担当区長：小西敏彦

今井季義	坂本富美枝	平井 保	高品明子
福田和弘	柴田月子	小西光明	河本邦世
西浦昌彦	高木つた江	河口政義	高木和美
石田健一	小川奈穂子	丸岡哲司	亀井由美子

魅力発掘事業には、魅力のピックアップや編集など、文化部員、区長をはじめ多くの方にご協力をいただきました。ありがとうございました。

里づくり部員 一同

コミュニティなかすじ  
豊岡市土渕 281-1  
TEL/FAX 0796-23-3746  
2023年2月発行